

2013年3月期決算説明会

2013年5月28日

電気興業株式会社

目次

1. 決算ハイライト

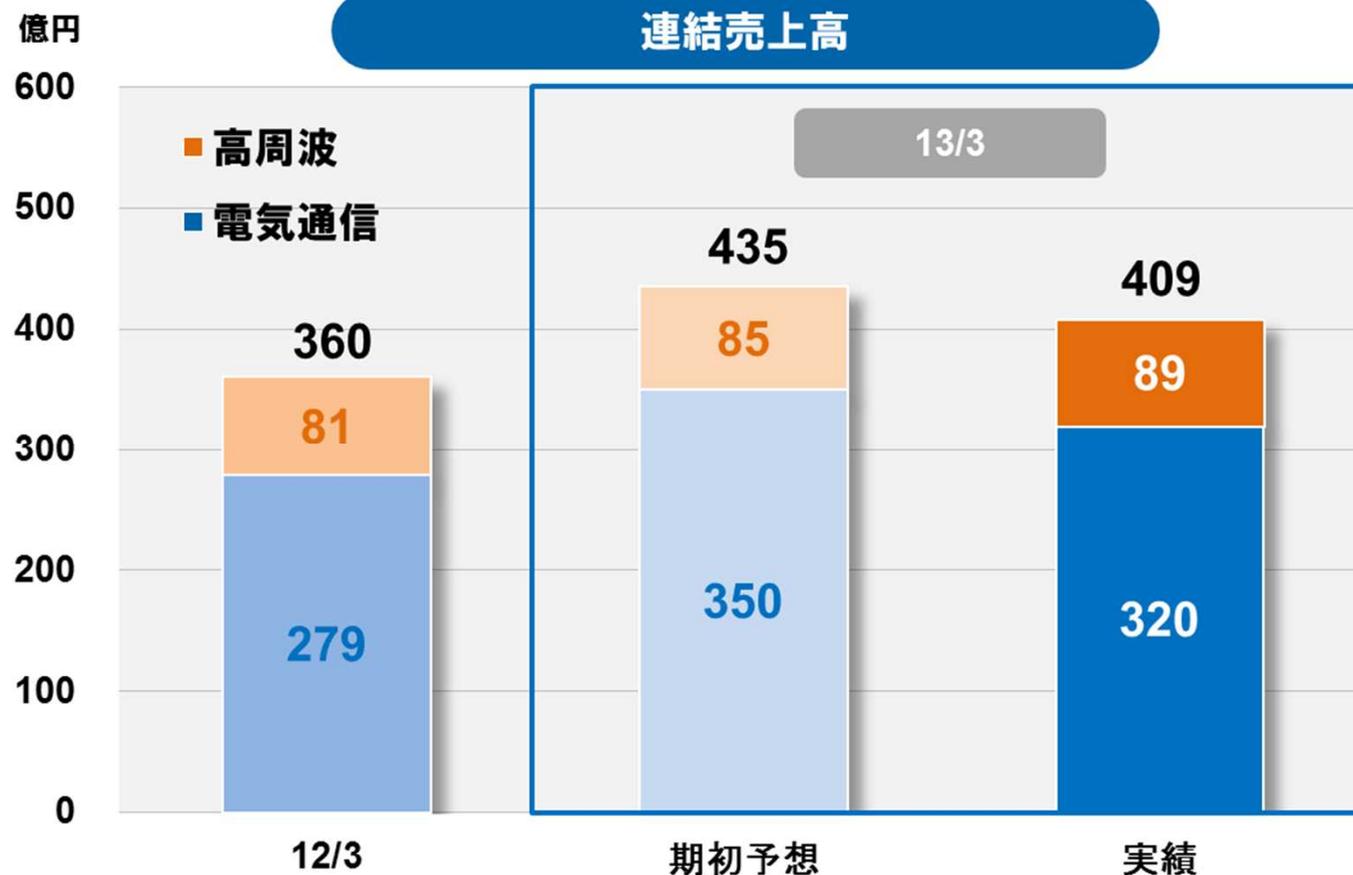
2. 単体セグメントの状況

3. 今期業績の見通し

決算ハイライト

連結売上高

- 連結売上高は前期比13.4%の増収
- 電気通信部門は固定無線および移動通信の売上回復により14.6%増、高周波部門は9.4%増



連結売上高
409億円

前期比
48億円増収
(13.4%増)

電気通信
320億円

前期比
41億円増収
(14.6%増)

高周波
89億円

前期比
8億円増収
(9.4%増)

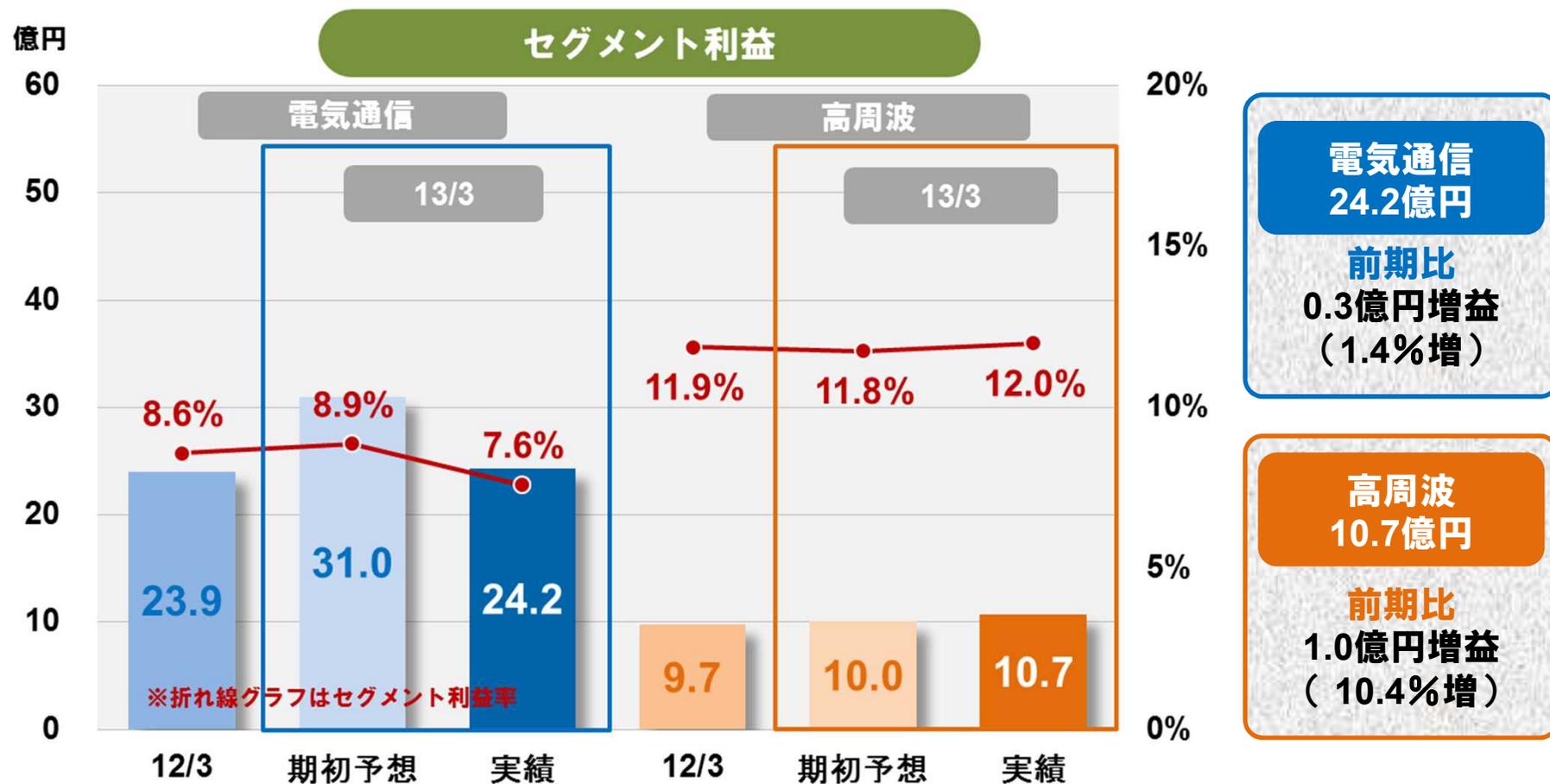
連結営業利益

- 営業利益は前期比3.3%の増益、営業利益率は前期比0.4ポイント低下
- 期初予想との差異は、退職給付債務の割引率変更に伴う退職給付費用の増加(7億円強)が影響



セグメント利益【連結】

- 電気通信のセグメント利益は、1.4%増益の24.2億円
- 高周波は10.4%増益の10.7億円



13/3期連結業績の概況

■通期損益計算書【連結】

(単位：百万円)

	12/3 実績	13/3		前期比		期初予想比	
		期初予想	実績	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	36,038	43,500	40,869	4,831	13.4%	-2,630	-6.0%
売上原価	29,840	-	34,203	4,363	14.6%	-	-
売上総利益	6,198	-	6,666	468	7.6%	-	-
販売費及び一般管理費	4,833	-	5,256	422	8.7%	-	-
営業利益	1,364	2,200	1,409	45	3.3%	-790	-35.9%
売上高営業利益率	3.8%	5.1%	3.4%	-	-	-	-
経常利益	1,550	2,400	1,572	21	1.4%	-827	-34.5%
売上高経常利益率	4.3%	5.5%	3.8%	-	-	-	-
当期純利益	1,869	1,300	1,496	-373	-20.0%	196	15.1%
ROE	5.1%	3.4%	4.0%	-	-	-	-

単体セグメントの状況

移動通信売上高【単体】

- LTEにおいて複数の周波数が使用されるようになったことに加え、700MHz帯や900MHz帯のプラチナバンドが新たに割り当てられたことから、アンテナ需要が増加し10.4%の増収
- 今期は前期並みのアンテナ需要を見込むものの、鉄塔・工事の減少により15.9%の減収見通し

億円

移動通信売上高【単体】



13/3期実績
113億円

前期比
10.6億円増収
(10.4%増)

14/3期予想
95億円

前期比
18.0億円減収
(15.9%減)

放送売上高【単体】

- 携帯端末向けマルチメディア放送関連の需要が想定以上に好調であったことから75億円の売上高を確保
- 今期もマルチメディア放送需要が期待できるものの、案件規模の小型化を想定し若干の減収

億円

100

80

60

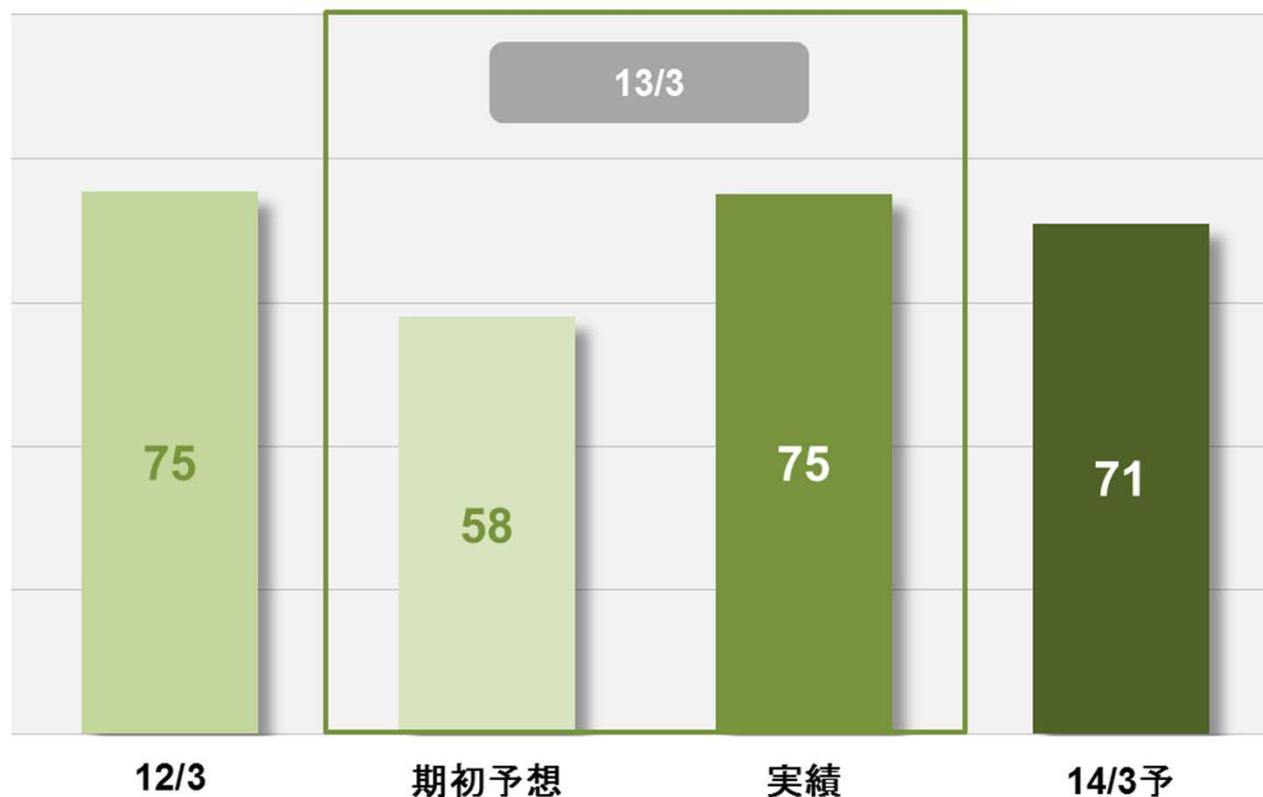
40

20

0

放送売上高【単体】

13/3



13/3期実績
75億円

前期比
0.2億円減収
(0.3%減)

14/3期予想
71億円

前期比
4.2億円減収
(5.5%減)

固定無線売上高【単体】

- 防災行政無線および消防救急無線の需要発生が想定よりも遅れていることから、期初予想を20億円程度下回ったものの68.5%の増収達成
- 今期は、防災行政無線を中心に需要拡大が見込まれることから44.7%増収の81億円を見込む

億円

100

80

60

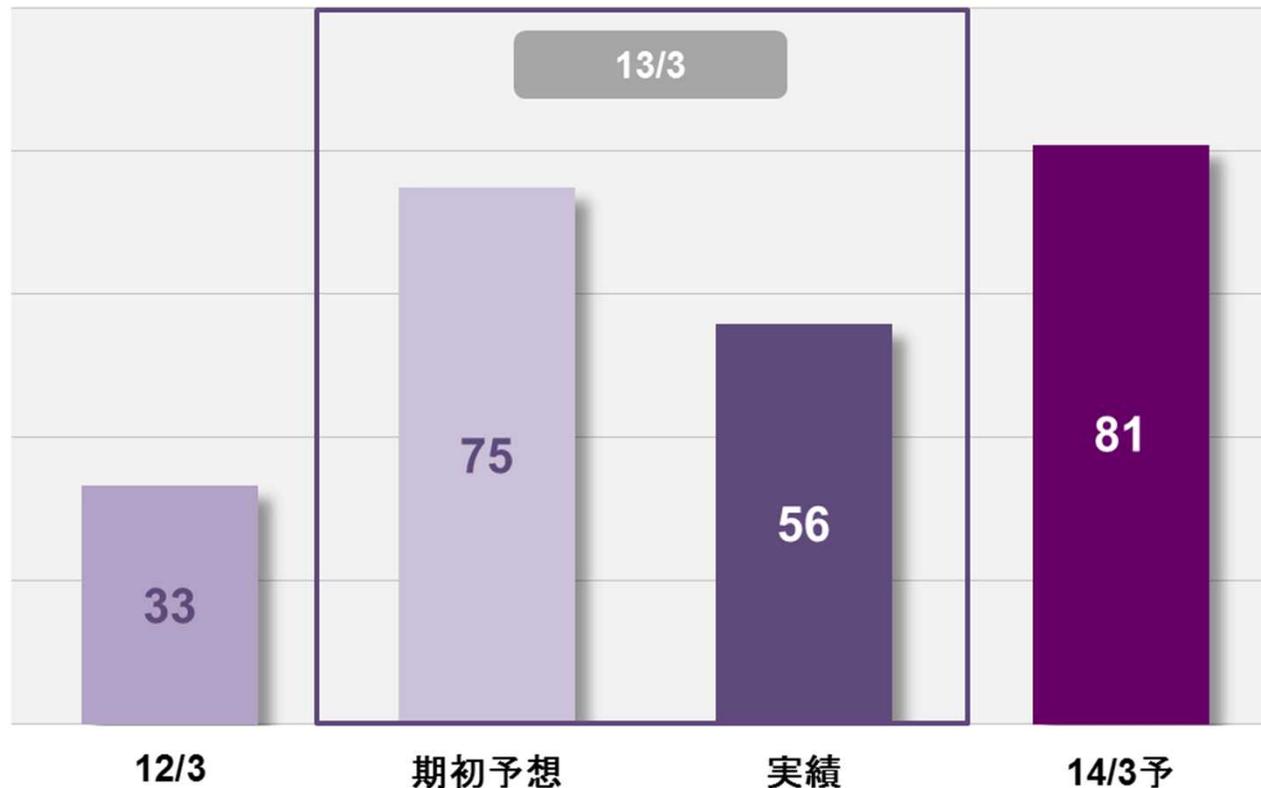
40

20

0

固定無線売上高【単体】

13/3



13/3期実績
56億円

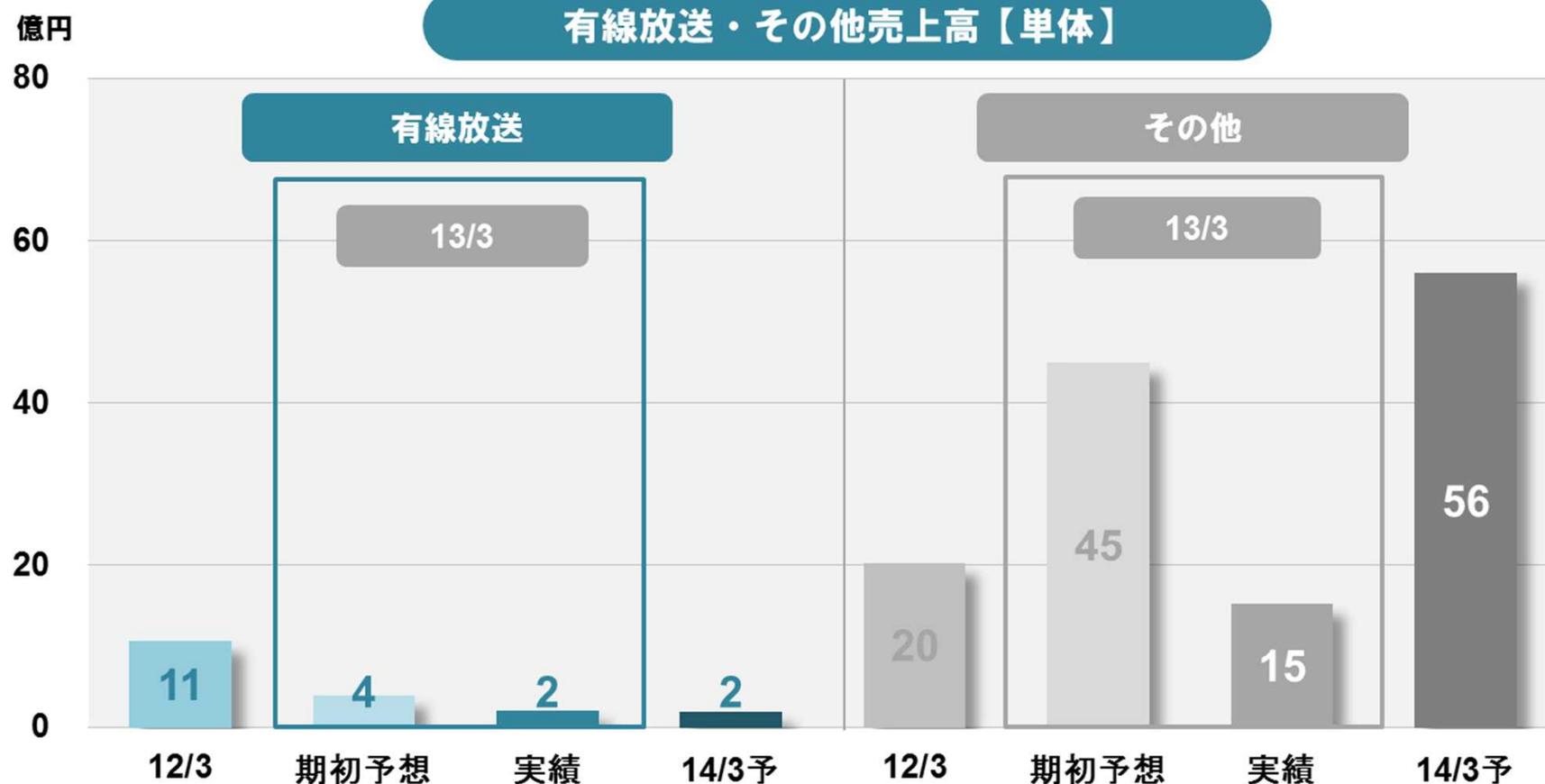
前期比
22.8億円増収
(68.5%増)

14/3期予想
81億円

前期比
25.0億円増収
(44.7%増)

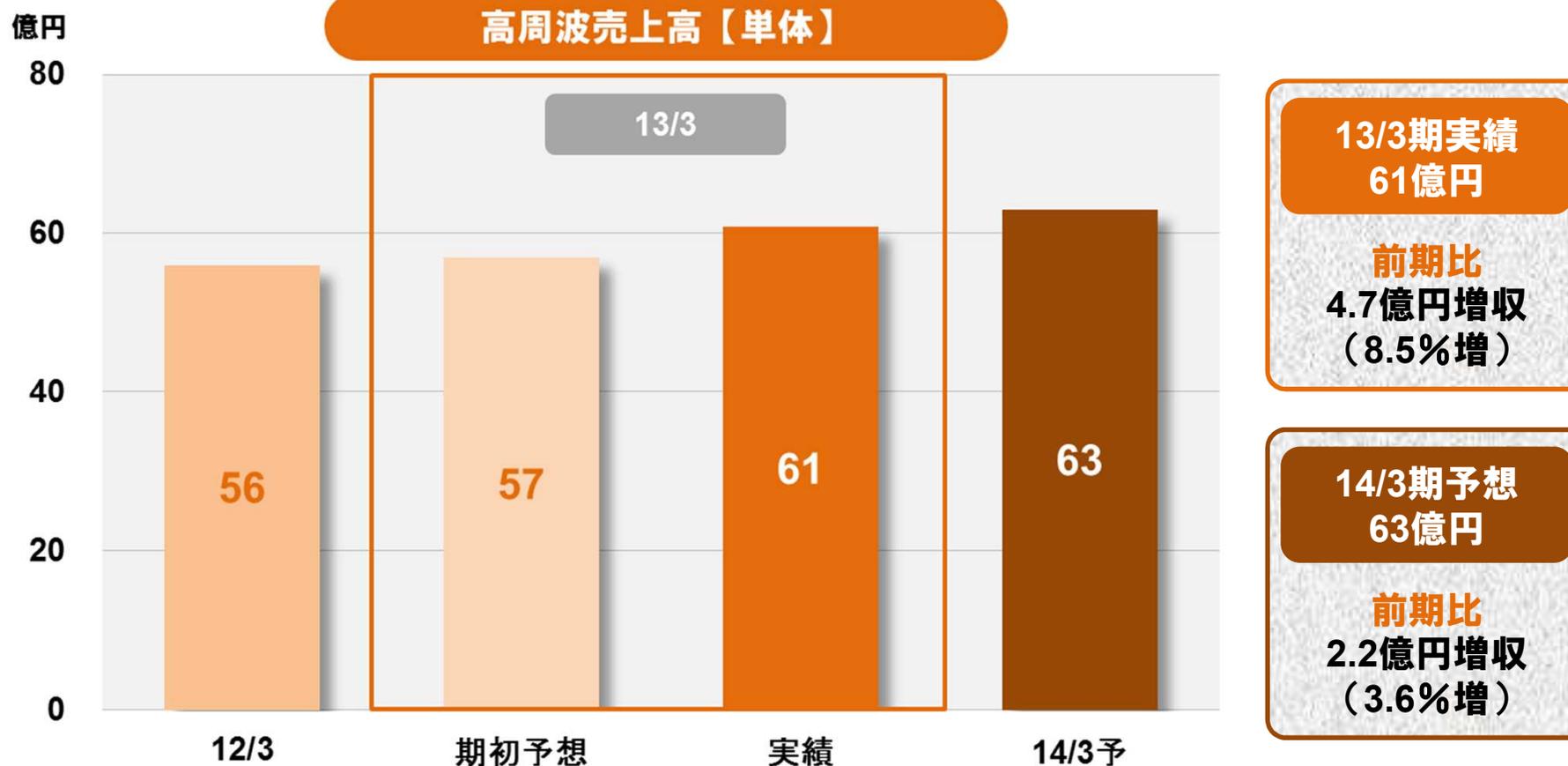
有線放送・その他売上高【単体】

- 有線放送は、地上波テレビ放送のデジタル化により、電波障害対策需要が減少
- その他は、太陽光発電関連の案件受注が順調に進んだものの、売上計上時期が今期にずれ込んだため前期は15億円となったが、今期は大幅増収の56億円となる見通し



高周波売上高【単体】

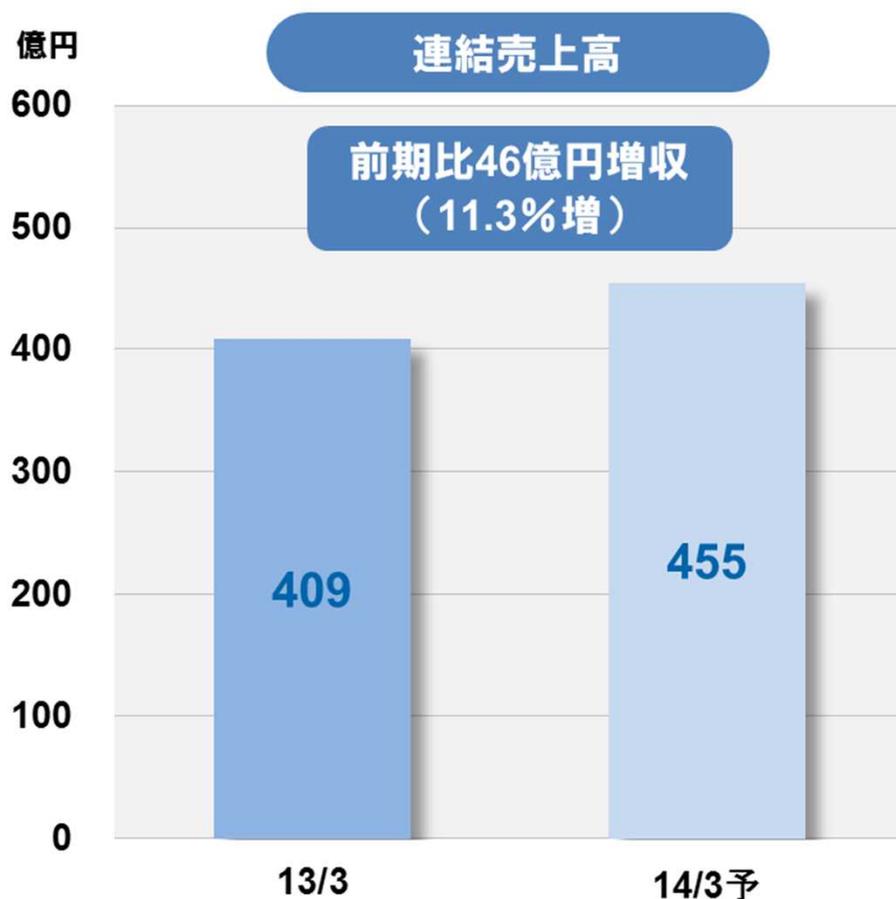
- 主要顧客である自動車関連メーカーの設備投資需要が堅調であったことから8.5%増収
- 今期は、日系自動車メーカーの増産に伴い底堅い需要が見込まれ、3.6%増収の見通し



今期業績の見通し

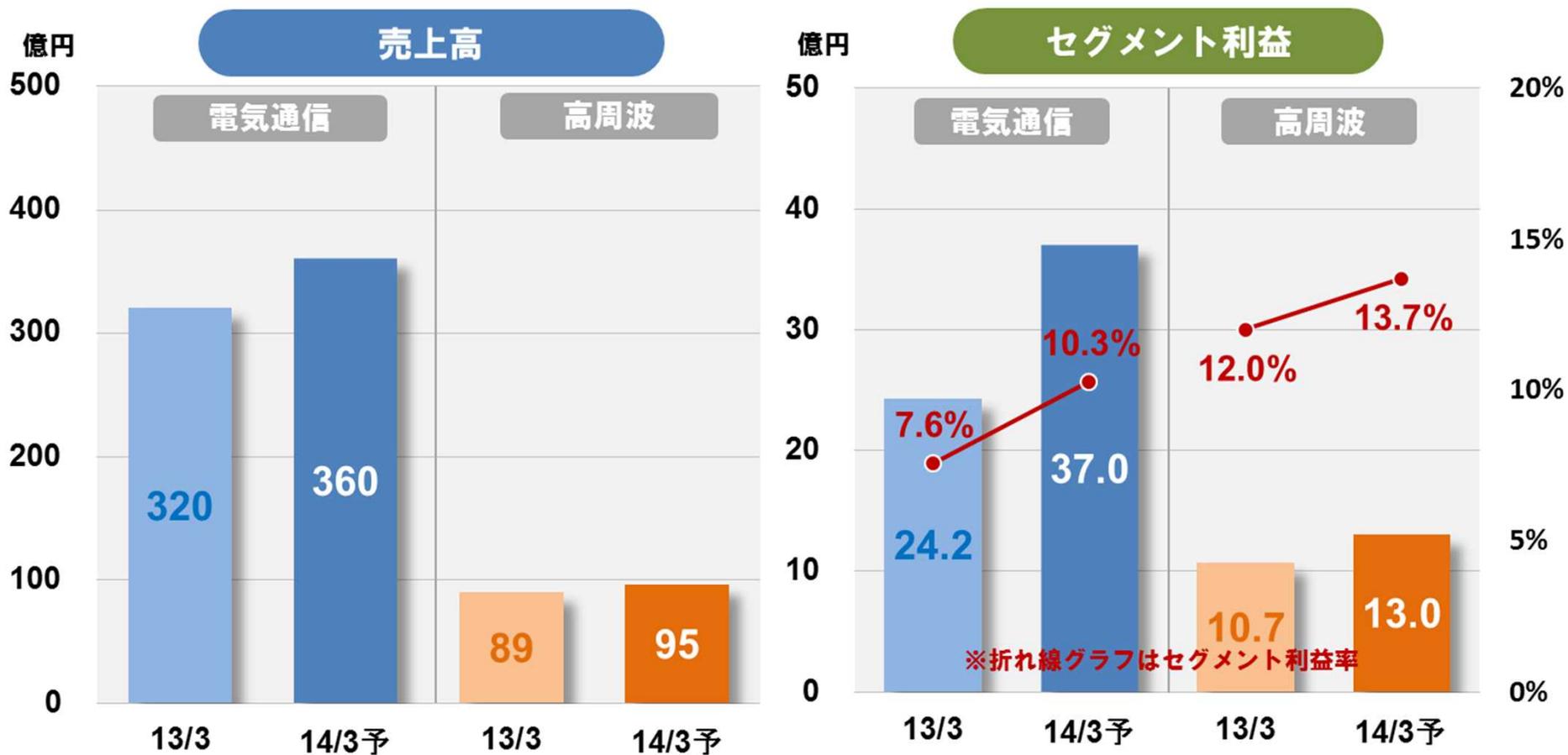
連結売上高・営業利益

- 連結売上高は、前期比11.3%の増収となる見通し
- 連結営業利益は14.9億円増の29億円を予想



セグメント業績【連結】

- セグメント別売上高は、電気通信が12.6%の増収、高周波は6.8%の増収見通し
- セグメント利益は、電気通信が52.6%増益、高周波は21.8%増益の見通し



14/3期連結業績見通しの概況

(単位：百万円)

	13/3 実績	14/3 予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	40,869	45,500	4,630	11.3%
電気通信	31,969	36,000	4,030	12.6%
高周波	8,896	9,500	603	6.8%
営業利益	1,409	2,900	1,490	105.7%
売上高営業利益率	3.4%	6.4%	-	-
電気通信	2,424	3,700	1,275	52.6%
売上高営業利益率	7.6%	10.3%	-	-
高周波	1,067	1,300	232	21.8%
売上高営業利益率	12.0%	13.7%	-	-
一般管理費他	-2,082	-2,100	-17	0.8%
経常利益	1,572	3,100	1,527	97.2%
売上高経常利益率	3.8%	6.8%	-	-
当期純利益	1,496	5,500	4,003	267.5%
ROE	4.0%	13.3%	-	-

(注1) その他セグメントの売上高は省略

株主還元

- 株主還元策の方針に従って、前期の配当は9円を予定
- また、3月5日に自己株式の取得を実施
- 今期の配当は現時点で1株当たり10円を予定

株主還元策の考え方

- 連結ベースでの配当性向40%を目途に配当
 - －ただし、当面1株当たり年間配当5円を下限として設定
- 株主還元策および資本効率の改善策として、自己株式の取得も選択肢として視野に入れ検討

前期（13/3期）の株主還元

- 連結ベースの配当性向40%を目途に1株当たり9円の配当を予定
- 3月5日に自己株式の取得を実施
 - －発行済株式数の0.85%に相当する60万株、2.3億円の自己株式の取得を実施

今期（14/3期）の株主還元

- 期末配当として1株当たり10円とする予定
 - －今期の特別利益に計上予定の厚生年金基金代行返上益（約60億円）は現金収入を伴わない会計上の利益であるため、配当原資に含めない方針

業績予想に関する注意事項

この資料の数値のうち、過去の事実以外の計画、方針、その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それらはいずれも、現時点において当社が把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。従いまして、かかる予想値は、リスクや不確定要因を含むものであって、現実の業績は諸々の要因により、かかる予想値と異なってくる可能性があります。かかる潜在的リスクや不確定要因としましては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行などの変更等が含まれます。